

国語 学習の手引き

国語科で大切にしたい力は……

- 一、道筋を立てて考える、論理的に考える力
- 一、より適切に表現する力
- 一、伝え合う力

【すべての教科に共通して必要な力を育てる教科が「国語」】

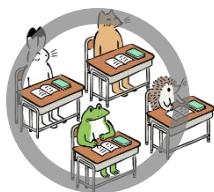
「本文をもとに自分の考えを持つ」 「筆者の考えを一目見てしっかりと分かるようにまとめる」

「自分の思いが正確に伝わるように書く」 「教材を通して学んだことを生かして考えを広げる」

国語では様々な物事の考え方やまとめ方、表現の仕方などを学びます。社会や数学、理科、英語など様々な教科がありますが、どの教科でも国語科で大切にしたい力が必要になります。

【国語科で取り組むこと】

- 書くこと : 作文・レポートなどを通して、自分の考えを書く。
- 読むこと : 文章（論説文、小説、古典など）から読み取る。
- 話すこと・聞くこと : スピーチやグループで自分の考えを話す。みんなの話を聞く。
（その時の姿勢や取り組み方など）



あいづちをする
相手を見る
質問する ……

話しやすい
自分の意見を
言いやすい

居眠り
話を聞いていない
否定する ……



雰囲気づくりを心がけましょう

【評価に用いるもの】

- ① 知識・技能
⇒漢字、文法、古典の単語など、答えが一つしかなく暗記できるもの。
- ② 思考・判断・表現
⇒・心情読解、筆者の考えをまとめるなど、筆者や登場人物の考えや思いについて叙述をもとに考えて書くもの。
・作文を書く、スピーチをするなど、お題について自分の考えを書いたり発表したりするもの。
- ③ 主体的に取り組む態度
⇒積極的に意見を発表する、ノートに友達の意見や気づいたことが書いてある、まとめに自分の考えが書いてあるなど、授業に向かう姿勢。

【ノートを書くときに意識してほしいこと】

- ・ノートの字は濃く・大きく・丁寧に
- ・自分の考えを残す（単語やキーワードでも📎）
- ・自分の考えと違う、なるほどと思ったことは📎マークで残しておく

